

アジアフォーカス・福岡国際映画祭で紹介され、
世界的な監督に羽ばたいたマジド・マジディ監督の特集。

特別企画

アジアフォーカス・福岡国際映画祭20周年記念

マジド・マジディ監督特集

図書館で収蔵している日本映画の名作・秀作のアンソロジー。

通常上映

アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛

日本映画名作選

四季・奈津子

アジアフォーカス・福岡国際映画祭で上映され、
総合図書館で保存しているアジア映画のアンソロジー。

通常上映

アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛

アジアフォーカス・アーカイヴズ

ワウと子豚

通常上映

アジアフォーカス・福岡国際映画祭で上映され、総合図書館で保存しているアジア映画のアンソロジー。

アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛

アジアフォーカス・アーカイヴズ



ドバイの恋

会期: 9月2日(木)～9月12日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料: 500円(大人)/400円(大学生・高校生)/300円(中学生・小学生)

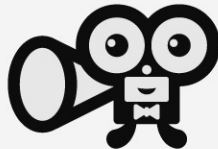
※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は250円(会員証の提示が必要です。)

※アジアフォーカス・福岡国際映画祭のチケットは使用できません。



2(木) 14:00 | 11(土) 14:00

チキンライス・ウォー *Chicken Rice War*

ウォン家とチャン家は隣同士でチキンライスの店を出していた。どちらにも秘密のレシピがあり、自分の店こそ一番おいしいと譲らなかった。ところがウォン家の長男フェンソンはチャン家の長女オードリーに恋をしてしまう。「ロミオとジュリエット」を下敷きにしたラブ・コメディ。



2000年/35ミリ/カラー/100分
シンガポール/日本語・英語字幕付き
監督: チーク
出演: ビエール・ブン
ラム・メイ

3(金) 14:00 | 11(土) 11:00

泣かないで *Let's not Cry!*

ムハマドは、故郷のウズベキスタンの村に帰ってきた。ムハマドはモスクワで音楽家として成功したと家族に言うのだが、実はギャンブルの借金から逃げるために帰ってきたのだった。監督はモスクワの映画学校を卒業した韓国人で、韓国の映画会社により、ウズベキスタンで撮影されたという異色の作品。



2001年/35ミリ/カラー/109分
韓国/日本語・英語字幕付き
監督: ミン・ジョンファン
出演: ムハマド・ラヒーモフ
エルキン・カミエロフ

3(金) 19:00 | 11(土) 17:00

パンと詩 *Bread and Poetry*

マジードは詩や小説が大好きで、自分で創作もしていた。図書館にある「レ・ミゼラブル」を借りたいマジードは、自分の家の本と図書館の本をすり替えてしまう。ところが家の本には小切手が挟まっており、大騒ぎになってしまう。少年マジードを暖かい視点で描いたイラン映画らしい作品。



1994年/35ミリ/カラー/91分
イラン/日本語・英語字幕付き
監督: キュマルス・フルアマド
出演: メヘディ・バゲルベイ
バルビンドフ・ヤズダニアン

4(土) 14:00 | 9(木) 14:00

黒犬、吠える *Black Dogs Barking*

イスタンブール。セリムとチャチャはギャング組織の末端で働きながら、いつか自分たちでビジネスをすることを夢んでいた。ある日ショッピングセンターの警備の仕事の入札に参加するチャンスが訪れる。ギャング組織の非情さ、そしてイスタンブールの移民区に住む若者の夢と挫折を描いた作品。



2009年/35ミリ/カラー/90分
トルコ/日本語・英語字幕付き
監督: メフメット・バハドゥル・エルマリナ・ゴルバチ
出演: ジェマル・トクタシュ
ヴォルガ・ソルグ

4(土) 11:00 | 12(日) 14:00

ワフと子豚 *A Piggy Tale*

台北に住むチュさんの家に、飛行機事故で両親を亡くした少女ワフが引き取られてくる。山の中の村で育ったワフは子豚のバラを連れてやってくる。慣れない都会暮らしにトラブルを起こすワフだが、チュさんの息子チュ・ピが世話をし、ワフは学校の仲間とも次第に友達になっていく。それでも子豚のバラの世話は大変でトラブルの種はつきない。そしてバラが街の中で行方不明になってしまう。ワフと子供達は必死でバラを捜索するのだった。

田舎で育ったワフと子豚のバラが台北で巻き起こす騒動をコメディタッチで描いた児童映画の秀作。不幸な境遇をみじんも感じさせないワフとバラのコンビも可愛い。台北に住む子供達の様子が生き生きと描かれている。子供達がバラを探して街中を動き回る姿は楽しく、見る者を元気にしてくれる。



1991年/35ミリ/カラー/101分
台湾/日本語・英語字幕付き
監督: クー・イーチョン
出演: ホアン・シアユン
チャン・イアンズー

4(土) 17:00 | 10(金) 19:00

ゴミの山の大将 *King of Rubbish-Dump*

チョンはゴミ捨て場に住む人たちのボスで、自らを「ゴミの王様」と呼んでいた。ある日花売りのトゥイと出会い一緒に暮らさしめる。トゥイの純真な心にチョンは影響を受け、貧しい人たちの事を考えるようになる。ゴミ捨て場という資本主義社会の象徴のような場所で、人間的であろうとする人々の夢や希望を描いた作品。



2002年/35ミリ/カラー/101分
ベトナム/日本語・英語字幕付き
監督: ドー・ミン・トゥアン
出演: ヴォー・ホアイ・ナム
グエン・ビック・ゴック

5(日) 11:00 | 10(金) 14:00

太陽のジャングル *Fire Fighters*

19世紀、イギリス植民地時代のスリランカ。イギリスは弾を禁止するのだが、セーディリスは山でお化けがでるといって噂を流し、密かに弾を売っていた。ある日山に僧侶の親子が住み着き、セーディリスは彼らを追いつく。自然と一体となって暮らす営みの美しさが描かれ、スリランカで大ヒットとなった作品。



2004年/35ミリ/カラー/117分
スリランカ/日本語・英語字幕付き
監督: ソーマラトゥネ・ディサーナヤカ
出演: ジャクソン・アントニー
ジャヤラトゥ・マノーラトゥネ

5(日) 14:00 | 9(木) 19:00

ドバイの恋 *Dubai*

ラフィーは中東のドバイで運送の仕事をしており、弟のアンドルーを呼び寄せる。二人の夢はお金をためてカナダに移住することだった。ところが人の良いラフィーは困った同郷人にお金を貸したりしており、貯金がないのだった。「母と娘」のロリー・B・キントス監督作品。急成長する都市ドバイに暮らすフィリピン人たちを描いた作品。



2005年/35ミリ/カラー/110分
フィリピン/日本語・英語字幕付き
監督: ロリー・B・キントス
出演: アガム・ラック
ジョン・ロイド

8(水) 14:00 | 12(日) 11:00

ここに陽はのぼる～東ティモール独立への道～ *Where the Sun Rises*

2002年にインドネシアから独立した東ティモールの独立までの道のりを描いたドキュメンタリー。映画の案内役を務めるのは、独立の英雄であり、初代大統領に選出されたシャナ・グスマン。戦争の傷跡から立ち上がる姿勢が描かれ、人間味溢れるグスマン大統領が魅力的である。



2006年/ビデオ/カラー/78分
東ティモール＝シンガポール
日本語・英語字幕付き
監督: グレース・バン

通常上映

図書館で収蔵している日本映画の名作・秀作のアンソロジー

アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛

日本映画名作選

20(月・祝) 11:00 | 28(火) 11:00

夜の河

京染めのお宿「丸由」の娘・きわはろうけつ染めを学んでいた。新作のデザインのために奈良を訪れたきわは、大学教授の竹村と知り合う。竹村には妻がいたが、二人は次第に惹かれあっていく。本作は吉村監督が自ら企画した初のカラー作品。撮影の宮川一夫による美しい京都の街並みや風景が素晴らしい。



1956年/35ミリ/カラー
104分/大映
監督: 吉村公三郎
出演: 山本富士子 上原謙

20(月・祝) 14:00 | 26(日) 11:00

羅生門

平安時代。盗賊の多襄丸は、侍夫婦を襲い、夫を縛り上げて妻を強姦する。しばらくして夫の死体が発見される。この事件を巡って多襄丸や妻などが証言するが、皆内容が食い違っていた。芥川龍之介の小説「藪の中」を映画化した作品。ヴェネチア映画祭グランプリを獲得し、一躍黒澤明の名前を国際的なものにした傑作。



1950年/35ミリ/モノクロ
88分/大映
監督: 黒澤明
出演: 三船敏郎 京マチ子

23(木・祝) 11:00 | 25(土) 17:00

憎いあんちくしょう

売れっ子タレントの北大作は忙しくてまともに寝ることもできない。マネージャーで恋人の典子とも倦怠期になり、いらいらを募らせる北大作は、九州までジープを運転するという仕事を受けてしまう。石原裕次郎と浅丘ルリ子のゴールデンコンビによる作品。裕次郎が博多山笠と遭遇する場面などがある。



1962年/35ミリ/カラー
105分/日活
監督: 蔵原惟綱
出演: 石原裕次郎 浅丘ルリ子

アジアフォーカス・福岡国際映画祭で紹介され、世界的な監督に羽ばたいたマジド・マジディ監督の特集。

アジアフォーカス・福岡国際映画祭20周年記念

マジド・マジディ監督特集

主催：福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会



裸足でヘラートまで

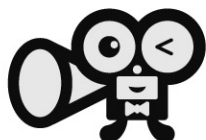
会期：9月15日(水)～9月19日(日)

観覧料：無料

※定員制、各回入替制。

※開場は開演の30分前。

※入場は先着順です。整理券の発行はありません。



15(水)
14:00

すずめの唄 *The Song of Sparrows*

キャラムはダチョウを飼育する農場で働いていたが、ダチョウに逃げられて仕事をクビになってしまった。やがてキャラムはテヘランでバイクタクシの仕事を始めるが、テヘランから様々な廃材を持ち帰るようになる。物欲にとりつかれることで大切なものをなくしていくキャラムを描き、心の豊かさとは何かを語りかける。



2007年/35ミリ/カラー/97分
イラン/日本語・英語字幕付き
監督：マジド・マジディ
出演：レザ・ナジ マルヤム・アクバリ

16(木)
14:00

バーラン *Baran*

ラティフはテヘラン市内のビル工事現場でお茶くみの仕事をしていた。ある日アフガニスタン人が怪我をして、息子のラーマトが代わりに仕事にくる。ラーマトは小柄なため、ラティフがやっていたお茶くみの仕事にされる。面白くないラティフはラーマトの秘密を知る。イラン国内のアフガニスタン難民の問題に焦点を当てた作品。日本での劇場公開題は「少女の髪どめ」。



2001年/35ミリ/カラー/96分
イラン/日本語・英語字幕付き
監督：マジド・マジディ
出演：ホセイン・アベディニ ザーラ・バラミ

18(土)
14:00

天使のような子どもたち *Children of the Heaven*

アリは妹の靴を修理してもらおうが、お使いの途中になくしてしまう。靴がないことを両親に言えない兄妹は、朝は妹がアリの靴をはいて学校に行き、妹の学校が終わるとアリが靴をはいて学校に行くのだった。モントリオール映画祭グランプリ、アカデミー外国語映画賞ノミネートなど、一躍監督の名前を世界に知らしめた心温まる傑作。日本での劇場公開題は「運動靴と赤い金魚」。



1997年/35ミリ/カラー/88分
イラン/日本語・英語字幕付き
監督：マジド・マジディ
出演：モハマド＝アミル・ナージ
バハレ・セッテギ

15(水)
11:00

父

The Father

出稼ぎに出ていた少年メヘロラは、家に帰ると母親が再婚したことを知る。母に裏切られた心境のメヘロラは、警察官である義父の銃を盗んで逃げる。義父はメヘロラをどこまでも追いかけていく。マジディ監督の第2作。前半はメヘロラと母親を中心とした家族のドラマだが、後半はメヘロラを追跡するアクション映画のような趣向である。義父役のモハマド・カセビは主演男優賞を受賞している。



1996年/35ミリ/カラー/95分
イラン/日本語・英語字幕付き
監督：マジド・マジディ
出演：ハッサン・サデギ モハマド・カセビ

16(木)
11:00

僕らのオリンピック *Olympic in Camp*

裸足でヘラートまで *Barefoot to Herat*

2002年/ビデオ/カラー/ドキュメンタリー/5分
イラン/日本語・英語字幕付き/監督：マジド・マジディ

2002年/ビデオ/カラー/ドキュメンタリー/65分
イラン/日本語・英語字幕付き/監督：マジド・マジディ

2001年10月から始まったアメリカによるアフガニスタン空爆。マジディ監督は01年11月から02年2月の間に3度アフガニスタンを訪れ、ドキュメンタリー映画を撮影した。「僕らのオリンピック」は難民キャンプでの映像を元に編集された機知に富んだ作品。「裸足でヘラートまで」は空爆で焼け出され、絶望に沈むアフガニスタンの人々、わずかな食べ物のために一日かけて歩く少年達の姿などが記録されている。

17(金)
14:00

柳の木のように *The Willow Tree*

大学教授のユーセフは子供の時失明していた。ある日体調を崩して医者にかかる、彼の目は角膜を移植することで見えるようになることが分かる。移植手術による光を取り戻したユーセフだが、眼が見えなかった頃の記憶との間で混乱するようになる。見える世界と見えない世界の認識の違いを繊細に描いた作品。



2005年/35ミリ/カラー/96分
イラン/日本語・英語字幕付き
監督：マジド・マジディ
出演：パビズ・バラスツイ
ロア・ティムリアン

19(日)
14:00

カラー・オブ・パラダイス *Color of Paradise*

テヘランの盲学校で学ぶ8才の少年モハマドは、夏休みに父親に連れられて故郷の村に帰る。再婚したい女性がいる父親は、モハマドの存在が疎ましく、彼を大工の見習いに出すのだった。監督にモントリオール映画祭の2年連続グランプリをもたらした傑作。眼の見えないモハマド少年の世界が、美しく感動的に描かれる。日本の劇場公開題は「太陽は、ぼくの瞳」。



1999年/35ミリ/カラー/90分
イラン/日本語・英語字幕付き
監督：マジド・マジディ
出演：ホセイン・マールジョーブ
モフセン・ラマザニ

23(木・祝)
14:00

真空地帯

昭和19年。過度な罪状を着せられ陸軍刑務所に2年間服役した木谷が、大阪の連隊に戻ってくる。ふてくされる木谷は、隊の中で疎まれていく。ベストセラーとなった野間宏の同名小説の映画化作品。上官への絶対服従を強いる軍隊の中の特殊な人間関係、非人間性を痛烈に批判した作品。



1952年/35ミリ/モノクロ
128分/新星映画社
監督：山本薩夫
出演：木村功 神田隆

24(金)
14:00

全身小説家

作家の井上光晴(1926年～92年)が、癌によりなくなるまでの最後の5年間を記録したドキュメンタリー映画。全国で彼が開いた文学伝言館での活動、生徒たちとの交流、交友があった作家仲間たちの証言などが含まれている。映画はさらに彼の子供時代や親族などへのインタビューを通して、虚構と現実が混在する彼の経歴をスリリングに解き明かしている。



1994年/35ミリ/カラー
ドキュメンタリー/156分
疾走プロダクション
監督：原一男

25(土)
11:00

心中天網島

大阪の紙屋治兵衛は妻子がある身でありながら、遊女の小春と馴染みになってしまふ。治兵衛の兄や妻は、二人が心中することを恐れて様々な手を打つのだが。近松門左衛門の浄瑠璃の映画化作品だが、音楽家の武満徹やデザイナーの粟津潔などが参加し、実験的で斬新な演出が行われていることが特徴である。



1969年/35ミリ/モノクロ
103分/表現社＝ATG
監督：篠田正浩
出演：若下志麻 中村吉右衛門

25(土)
14:00

四季・奈津子

福岡に住む4人姉妹の次女・奈津子は活動的な現代女性だった。ある日前衛劇団の公演を見た奈津子は、東京に住む写真家と出会い、新しい世界を求めて東京に出る決心をする。五木寛之原作のベストセラー小説の映画化作品。20代の女性の感性、当時の時代感覚を見事に表現しており、浮遊するような奈津子が魅力的である。



1980年/35ミリ/カラー
119分/東映＝幻燈社
監督：東陽一
出演：丸丸せつ子 阿木曜子



1・水	休館日	
2・木	14:00 チキンライス・ウォー	
3・金	14:00 泣かないで	19:00 パンと詩
4・土	11:00 ワフと子豚	14:00 黒犬、吠える
5・日	11:00 太陽のジャングル	14:00 ドバイの恋
6・月	休館日	
7・火	休映日	
8・水	14:00 ここに陽はのぼる	
9・木	14:00 黒犬、吠える	19:00 ドバイの恋
10・金	14:00 太陽のジャングル	19:00 ゴミの山の大將
11・土	11:00 泣かないで	14:00 チキンライス・ウォー
12・日	11:00 ここに陽はのぼる	14:00 ワフと子豚
13・月	休館日	
14・火	休映日	
15・水	11:00 父	14:00 すずめの唄
16・木	11:00 裸足でヘラートまで 他	14:00 バラン
17・金		14:00 柳の木のように
18・土		14:00 天使のような子どもたち
19・日		14:00 カラー・オブ・パラダイス
20・月/祝	11:00 夜の河	14:00 羅生門
21・火	休館日	
22・水	休映日	
23・木/祝	11:00 憎いあんちくしょう	14:00 真空地帯
24・金		14:00 全身小説家
25・土	11:00 心中天網島	14:00 四季・奈津子
26・日	11:00 羅生門	14:00 全身小説家
27・月	休館日	
28・火	11:00 夜の河	14:00 心中天網島
29・水	11:00 四季・奈津子	14:00 真空地帯
30・木	休館日	

予約制・無料（受付：平日 9時～17時）
相続・遺言、不動産の個別相談会
私達、財務コンサルタントがご相談を承ります。



河内山 義昭



内山 創

住友信託銀行 福岡支店
092-781-4405（受付：平日 9時～17時）
予約は前営業日までお願いします。

アジアフォーカス・福岡国際映画祭 2010

「アジアフォーカス・福岡国際映画祭 2010」を
9月17日(金)から26日(日)までの10日間、福岡天神で開催します。

本映画祭は今年で20周年の節目を迎え、歴代の福岡観客賞受賞作品上映会等の記念プログラムも加わり、アジア15ヶ国・地域から20本以上の作品が参加する予定です。

昨年好評を得た、貧しくとも未来を夢みる子どもたちの生活を描いた「虹の兵士たち」の続編で、その後の成長した彼らを描く「夢追いかけて」(インドネシア)や、本映画祭初登場アゼルバイジャンから、ソ連崩壊後の民族紛争を描いた「まぼろしの砦」等の上映が決定しています。



まぼろしの砦

記

- 開催期間 9月17日(金) オープニング上映(関係者・一般招待者のみ)
9月18日(土)～26日(日) 一般公開
- 上映会場 ソラリアシネマ1、エルガーホール、福岡国際会議場(予定)
- 主催 アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会、福岡市
- 入場料 1作品券 前売 1,000円/当日 1,200円
5作品券 前売 4,000円/当日 5,000円
フリーパス券 前売 10,000円/当日 12,000円

新材料 中学生・高校生 当日500円/小学生以下無料

※8月1日(日)から、福岡市内主要プレイガイド、全国のローソンチケット、チケットぴあ等にて前売券販売開始

ホームページ <http://www.focus-on-asia.com>

アジアフォーカス 検索

この件に関しますお問い合わせ先

アジアマンス インフォメーション(8月16日以降)

TEL:092-262-0676 E-Mail:info@focus-on-asia.com

information

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600

映像資料課:tel.092-852-0608 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

Access

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

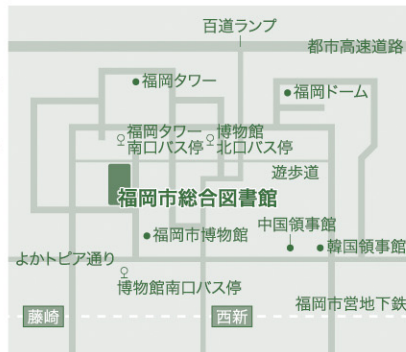
市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
◎所要時間は交通事情により異なります。
バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。



◆◆◆ 第122回福岡日伊協会映画会 ◆◆◆

ロベルト・ベニーニの『マイ・ワンダフル・ライフ』(1979年制作)

監督:マルコ・フェレリ/出演:ロベルト・ベニーニ、ポーロ・ニヤの小学生50人他

日時:2010年9月30日(木) 19:00～21:00 ※入場無料・先着120名

会場:あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL.092-263-1100

主催:福岡日伊協会 TEL.092-476-2153(西日本シティ銀行内)

協力:財団法人福岡文化財団